

東野

東野まちづくり委員会
2011年3月発行

自然豊かな世代の調和した元気な東野

東野のあらまし

東野は、阿木川と飯沼川の扇状地で古くからの住みよいところであり、大野吾(おおおご)・染戸(しみど)遺跡の発掘で縄文時代には既に人が住んでいたことが分かりました。大和朝の東山道(とうさんどう)が通っていたと推定され、また鎌倉時代には西行法師が庵を結び住んでいたという話もあり、南北朝時代の尹良親王(これながしんのう)の伝説も残っています。

江戸時代の東野は岩村藩の石高千三百余石の村であり、明治以降の町村制が実施されてからは更に村づくりを進め、特に養蚕の蚕種生産では日本一の村となり海外へも販売し、また日本におけるシクラメン生産の発祥地でもあります。植林にも力を入れ千町歩の東濃檜の美林を持ち、さらには米の自給を願って奥山に保古湖(ほこのこ)を造って農地を倍増しました。平成になってからは都市近郊型の阿木川ダムが出来、歴史と観光の里を目指しています。

発行

東野まちづくり委員会
2011年3月発行

お問い合わせ



東野コミュニティセンター

東野市東野 1342 番地 1

東野振興事務所
電話 (0573) 26-2244
東野公民館
電話 (0573) 26-2555

おおご
大野吾資料館の開館と花無山の西行歌碑への笹刈林道の解錠は、東野振興事務所へお問い合わせください。

交通アクセス

東野地域

電車で… JR 中央線恵那駅下車
明知鉄道線へ乗り換え 東野駅下車
車で… 中央自動車道恵那ICより
約 3.5Km(約 8 分)

阿木川湖

車で… 中央自動車道恵那ICより
約 5Km(約 13分)
胞山県立自然公園
車で… 中央自動車道恵那ICより
約 13Km(約 25分)



阿木川湖マップ

洪水調節、都市用水等の多目的ロックフィルダムとして工期約 13 年をかけて平成 2 年に竣工。

堤高 102m、堤長 430m。湖に架かる阿木川大橋は長さ 460m、斬新な「ヤジロベエ工法」で作られ、最大橋脚間 220m、橋の高さ 65m は当時日本一を誇りました。

豊かな自然に囲まれた阿木川湖は春には、桜やシデコブシが咲き乱れます。また、サツキ、サルスベリ、秋の紅葉など四季を通じて目を楽しませてくれます。

阿木川湖に映える緑の山林、湖面から立ち昇る雄大な噴水等を眺めながら散策し安らぎの一時を満喫してみませんか。

阿木川湖へお問い合わせはこちらへ

NPO 法人
ふれんどりー(阿木川湖畔)
TEL (0573) 25-1302

阿木川湖は幹線道路 257 号線のオアシス。「ふれんどりー」の店は豊かな森や季節の花に囲まれ、湖水に憩いを求めて訪れるハイカー、ドライバーに、笑顔と手軽な飲食サービス、地元産季節野菜などを提供する人々の交流拠点です。



阿木川湖絶景ポイント ※阿木川湖マップの A~C(緑)



阿木川湖周遊道 約 3,000m



阿弥陀堂までの長～い階段に挑戦!

その数なんと 450 段!
足腰に自信のある方はぜひ挑戦してください!



えなさん

胞山県立自然公園マップ



恵那市と中津川市の両市にまたがる県立公園で、岐阜県唯一の国民休養地であります。また自然豊かな花木に溢れた湖畔周遊道やキャンプ場、マレットゴルフ場のほか軽スポーツのできる多目的グラウンド、宿泊施設などがあり、老若男女を問わず四季を通じて楽しめる林間天空の楽園であります。

胞山県立公園へのお問い合わせ先

恵那山荘

〒509-7202 恵那市東野 2390-165
TEL 0573-66-7773
HP <http://www.enasansou.net/>

マレットゴルフ・グラウンドゴルフ
ワカサギ釣り・宿泊についての
お問い合わせはこちらへ

胞山県立公園の四季を楽しむ

春

マンサク
タムシバ
ミツバツツジ
ドウタンツツジ
コウヤミズキ
ツツジ祭り



秋

紅葉
キノコ
ドングリ
星空観察



冬

ワカサギ釣り
星空観察
どんど祭(左義長)



夏

ササユリ
サギソウ
ハギ
サワギキョウ



保古の湖周遊道
約 3,500m



大人も子供も
大自然の中で
おもいっきり遊べる

自然の起伏を
そのまま活かしたコースは
森林浴も楽しめます。



東野の自然

東野では大規模な開発は行われておらず、市街地近郊であっても良く自然が残っています。山林の中には人の手があまり入っていないところもあり、珍しい花木や山野草を見ることが出来ます。様々な野鳥、トンボやホタル(裏面に詳細)も多く、東野地域が一つのピオトープとなっています。

A 松浦の桜



見頃時期: 4月頃

樹齢は不明。エドヒガン系。旧家松浦家の桜の古木。切ると「祟りがある」という。

B 庄司坊のシデコブシ



見頃時期: 4月頃

宗久寺の元境内である庄司坊に自生する赤と白のシデコブシの巨木。

C 寺山のシデコブシの群生



見頃時期: 4月頃

傾斜した湿地に群生するシデコブシの自生地。他の木々と混生。

D 鷲尾神社のヤマザクラ



見頃時期: 4月下旬~5月上旬

東野最古の神社に生えた2本のヤマザクラの巨木。

E 浜井堀路切りのナンジャモンジャ



見頃時期: 5月頃

杉の木に隠れて見難いが天然のナンジャモンジャ(ヒツパタゴ)の巨木。木曾川流域のみに自生。

F 源吾輪橋のイイギリ



見頃時期: 10月~12月頃

葉に酸を盛ったのでこの名が付く。雌木から赤熟した長い果穂が多く垂れ下がる。

G 奥山のヒノキの美林



見頃時期: 年中

住民が挙って植林した樹齢約100年の東濃ヒノキの見本林。

H 保古山のシロヤシオ



見頃時期: 5月頃

皇太子の長女「愛子」様のお花。5枚の葉があるのでゴヨウツツジとも。大型の白い花弁の正面に緑の斑点あり。天然記念物。

東野全体マップ



● 東野の史蹟 (裏面に詳細) ● 東野の自然 (表面に詳細) ● 車止め

← Aコース ← Bコース ← Cコース

🏠 各種施設 🚻 トイレ 🍴 食事 🅇 駐車場
 🏥 医療系施設 🏠 宿泊 🗿 寺 🏯 神社

前山 1,350m

恵那山 2,191m

▲阿木山(焼山) 1,709m

▲花無山 701m

胞山(えなさん)県立自然公園
 保古の湖、根の上湖を中心とした自然公園。美しい自然を満喫できる他、キャンプや釣りも楽しめます。 [詳しくは裏面へ](#)

▲保古山 969m
 保古山のシロヤシオ
 城ヶ峰神社



ホタルを鑑賞しよう!

東野では川の水質保全やホタル学習に努めており、毎年多くのホタルを見ることができます。

ホタル鑑賞スポット

1. 定蓮寺川宗久寺前
2. 定蓮寺川東野駅前
3. 屋下の陣屋跡地裏
4. 飯沼川の広田神社前

東野ほたる祭り
 毎年6月中旬開催
 ほたる学習の他、ラムネやジュース等の販売もあります。



阿木川湖 [詳しくは裏面へ](#)
 ダム湖百選の一つに選ばれています。



<p>19 城ヶ峰神社</p>  <p>祭神は大山津見神。享和3年(1803)に創建。茄子川村との山争いが決着し、山の境にしっかり錠が掛かるようにと願って城ヶ峰(錠ヶ根)神社とした。</p>	<p>20 飯沼川の咳神岩</p>  <p>咳が出て止まらないときにお祈りをするという不思議な岩。治った人はお礼に泥団子を2個重ねてお供える。余りはっきりしないが、岩の上面に神様の2つ並んだ足跡のペトグラフがある。</p>	<p>21 広田神社</p>  <p>祭神は神宮皇后。武運長久、長生きの神様として崇める。本社は西宮市大社町にある広田神社。この社は寛文11年(1671)の大洪水で流され、川の中の大石の上に鎮座されていたのを安置したもの。</p>	<p>22 八坂神社</p>  <p>東野村の旧村社。祭神は須佐之男命で延徳3年(1491)京都の八坂神社から勧請。五穀豊穡、国家安泰、学問の神として祀る。悪病害虫の神を男女の鬘人形として送る「虫送り祭り」がある。</p>	<p>23 藤川翁の顕彰碑</p>  <p>東野向島の藤川友吉翁は、ここ鍋山の麓に冷風が吹き出す穴を発見し蚕種を低温保存できる風穴施設を作り、年間を通じて蚕種を販売できるようにした。家額には旧岐阜県知事によるもの。</p>	<p>24 杉山の清水</p>  <p>鍋山の北麓、旧岩村街道沿いに湧き出る清水で、県百名水の一つ。西行法師が阿弥陀堂に参詣する際愛飲され、「甘露かな」と言われたという「西行ゆかりの水」。</p>
<p>25 向島の阿弥陀堂</p>  <p>西行は文治2年(1186)秋、ここ阿弥陀堂で阿弥陀佛の化身にあい、尊像を作りお堂を建立。時を経て元禄2年(1689)地元民が石像を奉納し荒廃していたお堂を再建。西行より前に行基作の阿弥陀三尊があったという。</p>	<p>26 山本の風穴跡</p>  <p>藤川翁等が造営した「山本の風穴」の跡。落石を利用し長い通路を造り四方に石垣を積んでその上に天然水を載せ、吹き出す冷風として蚕種を冬眠保存させる天然の冷蔵庫であった。</p>	<p>27 大野吾資料館</p>  <p>阿木川湖に沈んだ縄文時代の「おおむ遺跡」の出土品を中心に、東野の染戸遺跡や市内の各遺跡に関連する資料を保管・展示している。予約開館(平日のみ)：東野振興事務所 0573-26-2244 まで</p>	<p>28 花無山の西行歌碑</p>  <p>「花なしの 峯にすみける 鶯のおのれと鳴て 春をしらるむ」という西行法師の詠んだ歌が彫られた大きな石の歌碑が立っている。笹刈林道入り口には施設有り。予約解説(平日のみ)：東野振興事務所 0573-26-2244 まで</p>	<p>29 西行の竹林庵跡</p>  <p>西行法師が住んでいた庵の跡という。市内には三郷町野井に松林庵、長島町永田に梅露庵の跡がある。一説には、西行は東国行脚の帰路恵那の地に3年間居住したという。</p>	<p>30 庵寺</p>  <p>宗久寺の最初の寺跡。本尊は十一面観世音菩薩。庚申会の青面金剛童子、子安地藏尊等がある。他に一心不乱沙弥(山争解決に奔走した安田善左衛門の息子伝左衛門)の位牌等も。前庭の草むらに「一心不乱」の墓石あり。</p>

オススメ散策コース

※各コースの距離は寄り道を除きます。

<p>A 染戸遺跡コース 距離：2,900m</p> <p>スタート 東野コミュニティセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 若宮神社・貴船神社 2 陣屋の跡地 3 染戸の五輪塔 4 染戸の阿弥陀堂 5 染戸の宝篋印塔 6 宮の前の五輪塔宝篋印塔 7 大門の常夜燈 <p>ゴール 東野コミュニティセンター</p>	<p>B 山の寺コース 距離：4,300m</p> <p>スタート 東野コミュニティセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 鷲尾神社 9 宗久寺 10 度会神社 11 開墾記念碑 12 妻の神 13 浜井場の常夜燈・道標 14 浜井場の六地藏の石幢 15 森見堂 <p>ゴール 東野コミュニティセンター</p>	<p>C 向島コース 距離：5,700m</p> <p>スタート 東野コミュニティセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 20 飯沼川の咳神岩 21 広田神社 22 八坂神社 23 藤川翁の顕彰碑 24 杉山の清水 25 向島の阿弥陀堂 26 山本の風穴跡 27 大野吾資料館 30 庵寺 <p>ゴール 東野コミュニティセンター</p>
--	--	--

<p>1 若宮神社・貴船神社</p>  <p>貴船神社の祭神は速秋津日子神。干ばつの飢饉が続く寛文5年(1665)に京都鞍馬より勧請。若宮神社の祭神は仁徳天皇(若宮八幡)で、子供の魂を正しく導く神。境内に合祀の社が沢山ある。</p>	<p>2 陣屋の跡地</p>  <p>崖と三方の空堀に囲まれた1辺70mの城跡跡地。岩村城の武田勢に備え、織田信長が住民を酷使して築いたものという。江戸時代の初めには陣屋が置かれていた。今は竹藪の中。</p>	<p>3 染戸の五輪塔</p>  <p>五輪塔が大小8基。2基は県下最大で高さ1.7m。大きな3基は真言律宗系で縁形座を持つ。岩村藩始祖加藤景繁の孫「善願上人」が鎌倉の極楽寺の高僧であったことからその関係も考えられる。</p>	<p>4 染戸の阿弥陀堂</p>  <p>元禄11年(1698)に阿弥陀如来を迎え建立。寛政8年(1796)には子安観音を安置し、安産・子育てを祈願。文政6年(1823)に弘法大師像を安置したので、弘法堂とも言う。</p>	<p>5 染戸の宝篋印塔</p>  <p>この地方最古の宝篋印塔。風化して見難いが塔身に「故宗中禅尼」「明徳英西暦7月廿2日午時去」とある。明徳4年(1393)は南北朝時代が終わった年であるので南朝の伊良親王の関係者であろう。</p>	<p>6 宮の前の五輪塔宝篋印塔</p>  <p>点在していた五輪塔と宝篋印塔を集めて祀っている。五輪塔の1基に応永11年(1404)聖清とあるので、武並神社の神宮寺に隠れていた南朝方の武士達が襲われ戦死した墓石であろう。</p>	<p>7 大門の常夜燈</p>  <p>安政6年(1859)大門の岩村道と横吹道との辻に立てられたもの。「秋葉大権現」とあるので秋葉街道の灯籠であり、台座に「染戸中」とあることから染戸地区の住民が寄進したものである。</p>	<p>8 鷲尾神社</p>  <p>祭神は鷲尾の神。南北朝時代の延元2年(1337)の頃、戦に敗れた桃井某が東野に住みつき、源頼朝の家臣であった先祖の鷲尾氏を祀り建立した。東野最古の神社。</p>	<p>9 宗久寺</p>  <p>曹洞宗万松山宗久寺は元和2年(1616)に開創。本尊は聖観世音菩薩。境内に石仏の薬師像を安置する薬師堂が、山門脇には応仁の乱の奥州武士の遺言によって建てられた水掛地藏尊がある。平成23年観音像と萬壽塔を建立。</p>
<p>10 度会神社</p>  <p>昔伊勢の小松2株があり年を経て古松になっていた。時の村長が伊勢の天照皇大神を勧請し明応元年(1492)に天下太平、五穀豊穡を祈って社殿を建立。鳥居前の2基の石灯籠は泉州の石工の作。</p>	<p>11 開墾記念碑</p>  <p>海拔900mの山上に保古の湖を造成し5kmの用水路を開削して新田百町歩を開墾した偉業を記念し東野の青年団が建てたもの。隣に新田の豊稔を祈願し、伊勢の外宮の豊受大神を勧請し記する社がある。</p>	<p>12 妻の神</p>  <p>疫病や邪悪なものが入らないように村に立てたもの。石裏の碑文に「昔、雨乞の古松あり、大風で吹き倒され、大石を置いてその跡を記る」とあり、弘化4年(1847)に有志が集い建立したものの。</p>	<p>13 浜井場の常夜燈・道標</p>  <p>巨大な灯籠は遠州秋葉大権現へ参詣する秋葉街道の辻に享保元年(1716)に立てられ、道標は享保13年に白坂道と岩村道との追分に置かれたもの。両者とも道路拡張工事により元の位置から移転。</p>	<p>14 浜井場の六地藏の石幢</p>  <p>幢身の大部分が土中に埋まり、傘の下の籠の六面に一体ずつの六地藏が浮き彫りされている。六地藏とは六道(天、人間、修羅、畜生、餓鬼、地獄)において衆生の苦難を救う地藏菩薩のこと。</p>	<p>15 森見堂(弘法堂)</p>  <p>本尊は三十三所観音菩薩で延享4年(1747)安置。弘法大師像は文政6年(1823)に安置。昔はお堂が森に囲まれていたので森見堂と言うが、大師講が盛んであったので地元では弘法堂とも。</p>	<p>16 小野川の薬師堂</p>  <p>小野川薬師は御薬の蟹薬師、落合の山中薬師と共に美濃三大薬師の一つとして参拝者が列をなした。正保3年(1646)に建立。厨子に入った本尊の脇には日光・月光の高菩薩と十二神将を安置。御開帳：旧暦10月11日</p>	<p>17 夜泣き桜</p>  <p>小野川にその枝を取ってきて燃やし、炎を見せると子供が夜泣きが治るといわれる桜の木があった。昔、その木に大蛇が住みつき人々を悩ませていたが、武士に退治され頭、胴、尻尾の三つに斬られた。今の桜は2代目。</p>	<p>18 白山神社</p>  <p>祭神は伊弉諾。万治3年(1660)石川県鶴来町白山本宮の白山比咩神社から勧請。小野川の住民11戸が、度重なる風水害から地域を守るために寄進し創建したもの。</p>